

福島第二原子力発電所1号炉原子炉建屋におけるブローアウトパネルの復旧完了について

＜ 参 考 資 料 ＞
2022年6月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所

- ◆ 2022年3月16日に発生した地震の影響により、1号炉原子炉建屋南西コーナーのブローアウトパネル* 1箇所にコブシ1個分の隙間を確認しました。
また、応急対策としてブローアウトパネルの隙間が広がらないよう、チェーンにより固定しました。
なお、原子炉建屋内の気圧は継続して外より低く保たれており、外部への放射性物質の放出はありません。

*ブローアウトパネル：原子炉建屋の圧力が上昇した時に、自動的に圧力を逃がし、建屋の損傷を防ぐ装置。

(2022年3月17日お知らせ済み)

- ◆ その後、ブローアウトパネルを調査したところ、パネルを押さえるために設置されている止め板の変形を確認しました。地震時の揺れの影響により止め板が変形し、コブシ1個分の隙間が空いたものと考えております。
- ◆ 6月1日から復旧作業を進めておりましたが、6月16日までにブローアウトパネルの閉鎖および当該パネル止め板の取り替え等が完了しましたので、お知らせいたします。

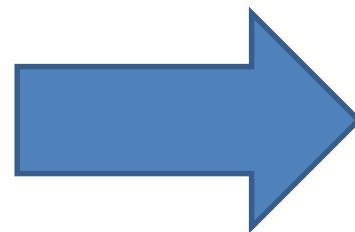
＜3.16福島県沖地震発生後の状況＞



ブローアウトパネル外部



ブローアウトパネル内部



＜復旧後の状況＞




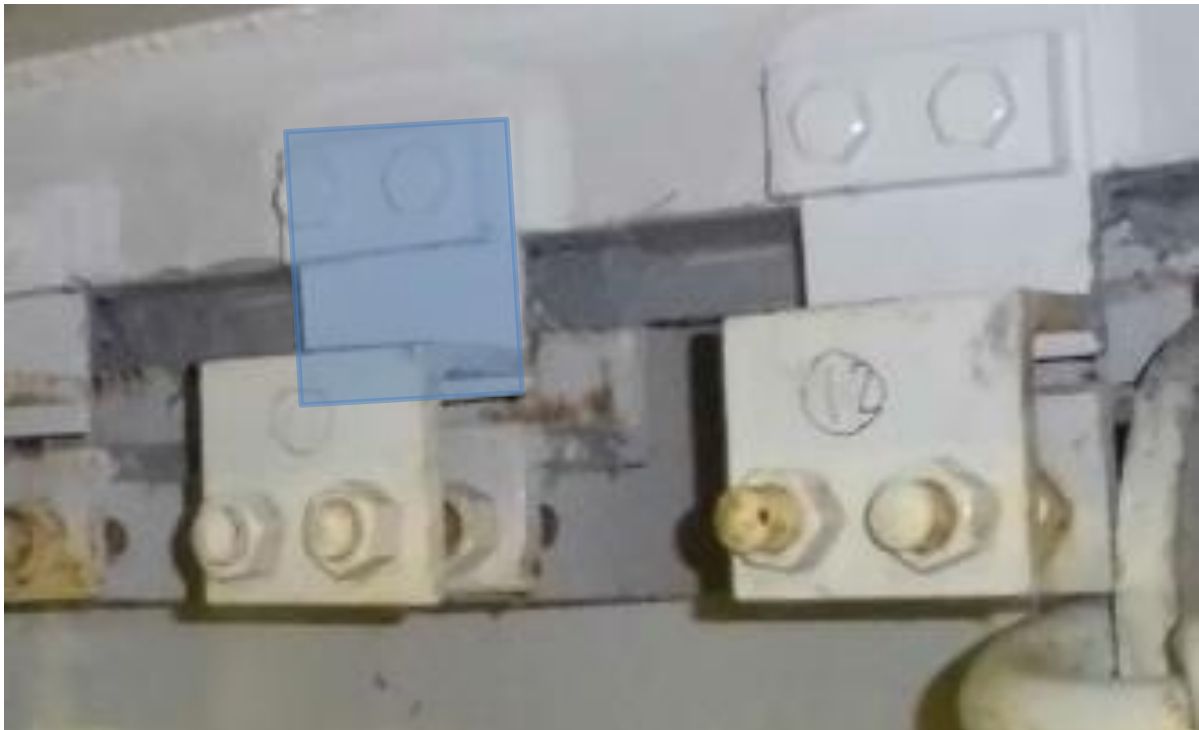

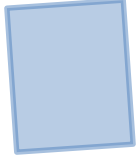
ブローアウトパネル外部



シール材

ブローアウトパネル内部

<参考> 1号炉原子炉建屋ブローアウトパネル止め板の変形

ブローアウトパネル止め板 南西コーナー（変形）	ブローアウトパネル止め板 南西コーナー（復旧後）
	
 : 止め板	 : 止め板